

問 水質管理事業について、委託料が増額の理由は。

答 28年度は、実績額をもとに予算化した。29年度は、積算額を予算額としたために増額となった。

反対討論

水道事業は低料金で安定的に良質の水を供給しなければなりません。水道料金の消費税が内税方式から外税方式に変更されています。消費税は31年10月から10%に引き上げられようとしています。消費税の料金への転嫁には反対です。

賛成討論

水道事業は、市民に安全で安心できる水を安定して供給することが求められます。本予算は、健全経営のもととなる収益とともに、安定的な事業運営の費用や災害に強い水道施設の更新に係る費用などを見込み、適正な内容であることから、賛成の意を表します。

平成 28 年度 一般会計補正予算

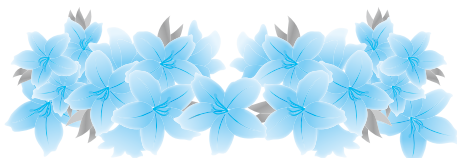
今回の補正予算は、予算総額から3億5,805万4千円を減額し、総額を145億3,775万2千円とするものです。

歳入の主なものは、財産収入、寄附金を増額し、繰入金、市債を減額するものです。

歳出の主なものは、民生費、教育費を増額し、総務費、土木費を減額するものです。

問 ふるさと納税事業は当初のほぼ倍となる。返礼品の欠品、納期遅れなどや寄附金受領証明書に関して、問い合わせ状況は。

答 寄附者からのクレームはない。返礼品の管理は、委託している専門事業者が返礼品の在庫状況をシステム化し、また、返礼品を取り扱う市内協力事業者の生産や処理能力を超えないよう、調整している。



条 例

市の基本構想を策定することについて

第5次白岡市総合振興計画の新たな基本構想を策定するものです。

問 まちのにぎわい創出プロジェクトの白岡中学校周辺区域の開発にあたっては、白岡駅西口の開発と一体的な開発を考えているのか。

答 この区域は、白岡駅から近くにあるので、都市計画道路白岡駅西口線や駅前広場の整備などと一体的に検討を進めたいと考えている。

市行政評価委員会条例

市政運営の透明性を高め、市民の視点に立った行政評価の確立と推進を図るため、白岡市行政評価委員会を置くことにともない、新たに条例を制定するものです。

問 この行政評価委員会の役割は、市の職員が行った内部評価の結果を検証することか。

答 29年度は、行政評価制度を構築し、30年度以降については、市の内部で施策や事務事業などを評価して結果をこの行政評価委員会で評価していただく。

市空家等対策協議会条例

空家等対策の推進に関する特別措置法の規定にもとづき、空家等対策を総合的かつ計画的に推進する必要があることから、空家等対策計画の作成・変更・実施などについて協議する白岡市空家等対策協議会を置くため新たに条例を制定するものです。

問 委員には、専門知識が求められることになるが、構成はどう考えているのか。

答 法で明記されている市長のほか、行政区長、司法書士、宅地建物取引士、民生委員・児童委員、商工会、大学教員、公募に応じた方などを予定している。